

注意事項

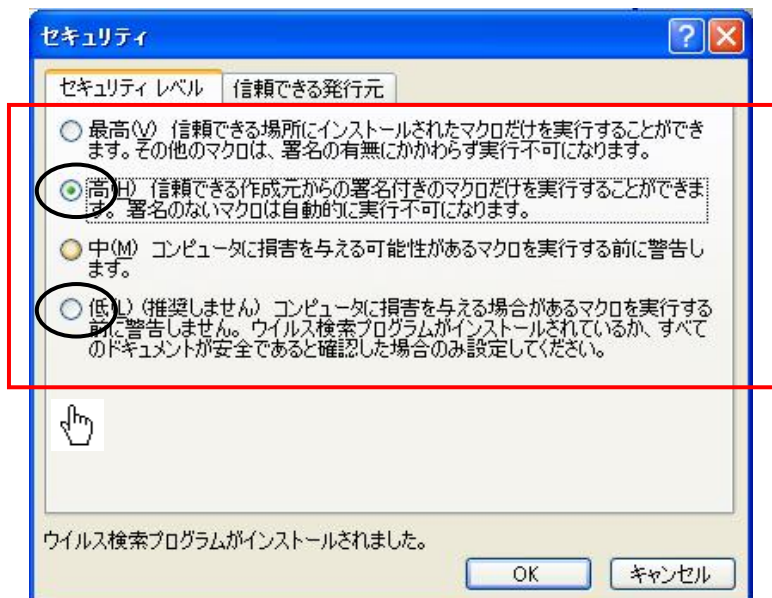
このエクセルファイルはマクロを使用しているので、ファイルを開く際「セキュリティの警告」というダイアログボックスが表示されます。このエクセルファイルに入力する場合は、「マクロを有効にする」ボタンをクリックしてご使用下さい。

また、マクロのセキュリティを「高」に設定されている方は、「中」に設定しなおしてからファイルを一旦閉じて、再度 開きなおしてください。なお、入力作業が завершиましたらセキュリティを「高」に設定しなおすことをお勧めします。

Office2002,2003の場合

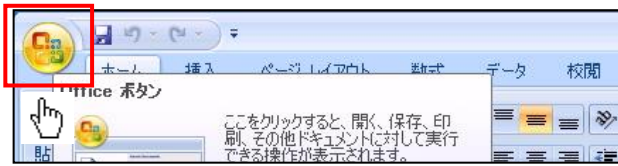
メニューバーから[ツール(T)]→[マクロ(M)]→[セキュリティ(S)]から[セキュリティレベル]タブを選択し
通常、セキュリティレベルは「高」に設定されているので、「中」か「低」に変更します。

作業後はセキュリティに配慮し、「高」に戻します。

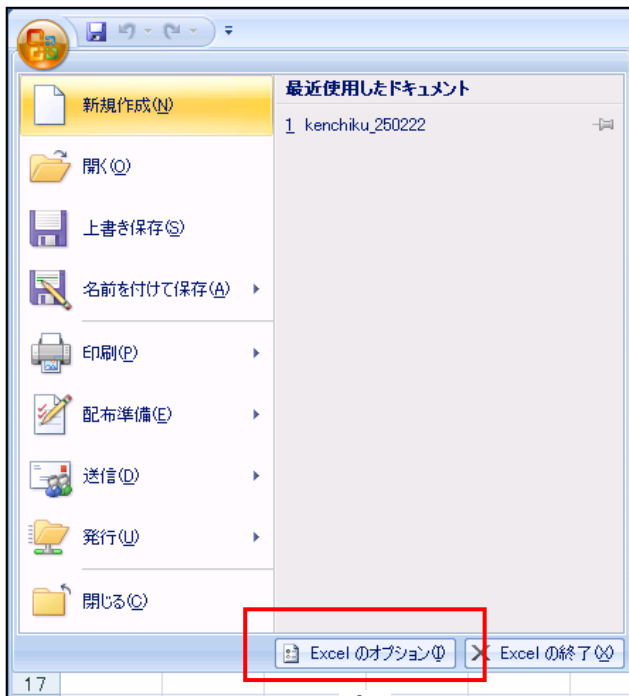


Office2007の場合

- ① Officeボタンを押します。



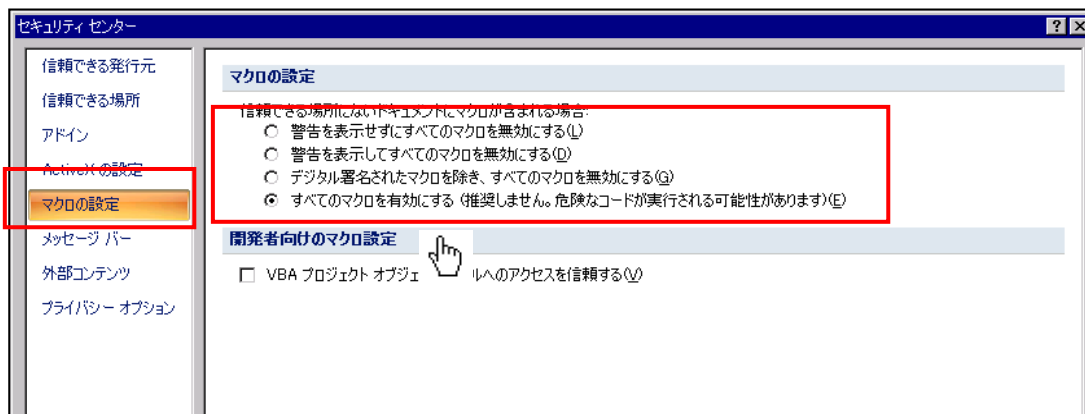
- ② メニューより「Excelのオプション」を押します。



- ③ Excelのオプションより「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」の順に開きます。



- ④ セキュリティセンターより「マクロの設定」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れます。
OKを押し、セキュリティセンターとExcelのオプションを閉じます。
その後、実際に作業を行い、終わった後は元の設定に戻しておきます。



Office2010の場合

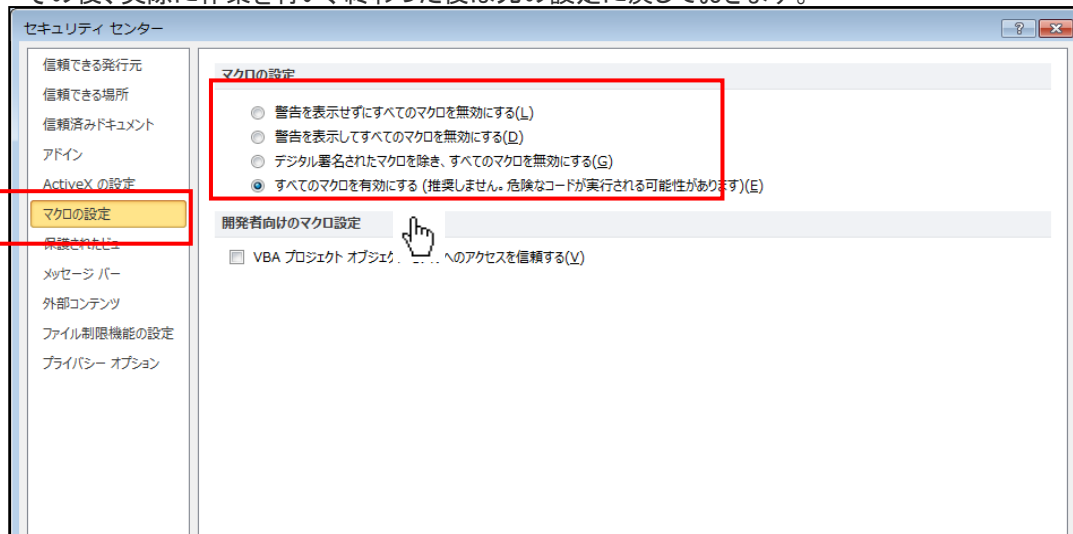
- ① ファイルメニューより「オプション」を選択します。



- ③ Excelのオプションより「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」の順に開きます。



- ④ セキュリティセンターより「マクロの設定」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れます。
 OKを押し、セキュリティセンターとExcelのオプションを閉じます。
 その後、実際に作業を行い、終わった後は元の設定に戻しておきます。



- ※ Excel2010を使用している場合、ダウンロードして解凍したファイルを開いた際に「保護されたビュー このファイルは、インターネット上の場所から取得されており……」といったメッセージが表示されることがあります。
 その場合は、そのままだとマクロが正常に起動しないので、「編集を有効にする」をクリックして操作を進めて下さい。
 下図のようにチェックを外すと、メッセージが出ないように設定することもできます。

